

財務常任委員会
予算審査
3分科会

Pick Up

財務常任委員会は、3分科会を設置し、各種会計予算の審査を行いました。総務・民生教育・産業建設の各分科会は2月19日から同月27日までの期間で内部審査と現場調査を実施しました。

分科会審査の中で各分科会から「特に留意すべき事業案件」の記録をピックアップして紹介します。

『総務部 防災課』

『国民保護事業』

ミサイル攻撃等に対し、原則的には、頑丈な建物等への避難を啓発しているが、いざという時はその場所で最善の行動をとれるように指導していく。例えば、ミサイルによる爆風は、地上に対し、水平方向に広がるので、その場所における付近を見回し、側溝等のできるだけ下にくぼんでいる場所に逃げるといったような行動を小中学校に配布物等で啓発していく。

『教育委員会 学校教育課』

『学校情報化推進事業』

多額の事業予算を必要とすることから、タブレット、電子黒板、書画カメラ等の活用を図り、成果を上げるよう努力すべきである。

『保健福祉部 福祉課』

『生活困窮者自立支援事業』

支援に係る定期訪問等従来の対応に加えさらなる手法を考える必要がある。

『市民生活部 環境課』

『火葬場整備事業』

地域協力金は、公金の性格上報告の義務が課せられるべきである。

『産業部 商工観光課』

『奥松島公社観光復興支援事業』

奥松島公社の経営については、民間感覚の発想に基づき、さらなる創意工夫、改善が必要である。

『建設部 建設課』

『市営住宅管理事業』

今後の管理運営について現行の宮城県住宅供給公社への委託業務を見直し最良の手法を考慮すべきである。

第1回 定例会補正予算

補正予算総額 68億9741万3千円の減額

矢本（東松島）消防署新築工事
実施設計業務委託料等を計上

平成30年第1回定例会において、一般会計ほか8特別会計の補正予算を可決しました。

①財産収入、不動産売却
収入

内容について

東矢本あおい地区、野蒜ヶ丘地区

高台の空き区画やひびき工業団地内の売り払い等によるもの。

②農林水産業費、漁業生産組合のり養殖事業補助金

増額の内容について

海水の取水に際し、塩分濃度確保のための食塩購入費の増加分である。

③商工費、仮設店舗解体工事

減額の理由について

既に解体したひびき地区内の執行残と大塩グリーンタウン内の店舗売却によるもの。

3月補正予算 質疑があった事業（細々節名）

歳入		（単位：千円、△は減額）	
No.	款	細々節	補正額（増額）
1	財産収入	土地売却収入	245,166

歳出			
No.	款	細々節	補正額（増額）
1	農林水産業費	東松島漁業生産組合のり養殖事業補助金	343
2	商工費	工事請負費（仮設店舗解体工事ほか）	△16,909
3	教育費	工事請負費（旧宮戸小学校解体工事ほか）	△23,777

④教育費、旧宮戸小学校解体工事

工事負担について

県の補助事業で県が負担し、事業実施は市で行う。